

# シンポジウムで活発な議論 学校給食の無償化を求める



## 米原市民報

日本共産党米原市議員

山脇正孝 Tel.52-1093

日本共産党湖北地区議員団

事務局 藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

### 会場からも活発な議論

8月28日米原新庁舎で「米原市の給食を考えるシンポジウム」が開催されました。

シンポジストは長浜養護学校教員の垣見さん、元中学校教員の塚本さん、学校サポーターの志賀さん、市会議員の山脇さん。コーディネーターは米原市で中学校教員をされていた今宿さんでした。障がい児教育の中で給食の重要性が語られました。また貧困化が進む中で給食費が払えない家庭や家庭での食事そのものが取れていない子どもがいることも報告されました。また現在は改善されているが今まで学級担任や学年主任が給食費の徴収を負わされた実態が報告されました。

また米原市の給食が「おいしい」と評価されている事も報告されました。これは給食の経営形態（米原市は直営センター方式）と結びついており、近江町時代の自校方式の良さも語られました。また山脇議員は給食費の徴収根拠がいまいであることも報告されました。また会場参加者からも多くの方が自分の経験に基づき発言されました。

### 給食費無償化署名に協力を

その中で給食の教育的意味は高く、無償化は長浜市や高島市では実施されているし、他の自治体でも検討が進んでいる。低所得対策ではなく子育て支援策としての給食費の無償化を求めていくことが議決されました。その第一弾として署名

を広げていくことが意思統一されました。



### 山脇議員の一般質問

今回の一般質問は10人ですが、本来質問時間は30分ですが、20分に短縮されることとす。感染対策をすれば30分でも問題ないと思えますが？。山脇正孝議員の一般質問の概要は次のとおりです。質問時間は7日の4番目11時30分ごろからの予定です。ぜひ傍聴を。

#### ○生理的貧困について

「生理的貧困」が社会問題となつていきます。早急に経済的理由などによって、健康で人間らしい生活がおよびやかされる状況をなくしていくことが求められます。

1. 更新時期を迎えている防災備蓄品の利活用は。
2. 女子トイレに生理用品を置くことを進めること。
3. 情報発信を、各校で適切に行い、児童生徒に周知すること。

#### ○新型コロナウイルス感染爆発

先週号で学校教職員のワクチン接種は進んでいると書きましたが、ある人から打ちたくても打てていない教職員がかなりいるとの連絡をもらいました。実態はどうか。

9月1日付中日新聞で、米原市が市独自でPCR検査を実施すること。児童クラブで陽性が判明したが感染拡大で保健所での濃厚接触者の判定が出来ず、自宅待機を余儀なくされたとの経験からとのこと。日本共産党は以前からPCR検査の重要性を訴えてきました。山脇議員質問にあるように、検体採取を誰がどの様にするのか。二百人分足りるのか、市長専決ですが「議会」でのしつかりとした議論が必要だと

下での子育て関連施設の感染症対策と職員が安心安全に働ける環境づくりについて

1. いままでの新型コロナウイルスウィルス感染症拡大防止対策の中で、とくに強化した取り組みは何か。
2. 抗原簡易キットは、症状のある職員への緊急のものだが、現場では採取に必要な場所も防具もないなどの問題が噴出しかねない。無理なく活用できる対応策を具体的に示すこと。
3. 子育て関連施設の職員は、ワクチン接種を優先させている職員の新型コロナウイルスワクチン接種状況を問う。
4. ひとりでも多くの保育士を採用し、保育士確保に努めること。
5. 新型コロナウイルス禍における放課後児童クラブの多くは、密を避けるため、使用する部屋を増やしたり、支援員を増やしたりしており、運営費は増大している。運営事業委託料について、新型コロナウイルス加算等により増やすこと。

#### ○近江グラウンドの利用問題と改修について

昨年末より、近江グラウンドのスポーツ少年団野球利用の方々から、「なぜ、近江グラウンドの利用が突然できなくなったのか。いつ使えるようになるのか」との問い合わせが私のもとに届いています。その事情と対応について。